

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第6週の発生動向

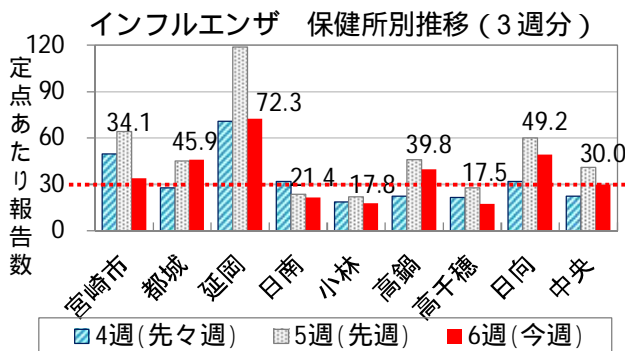
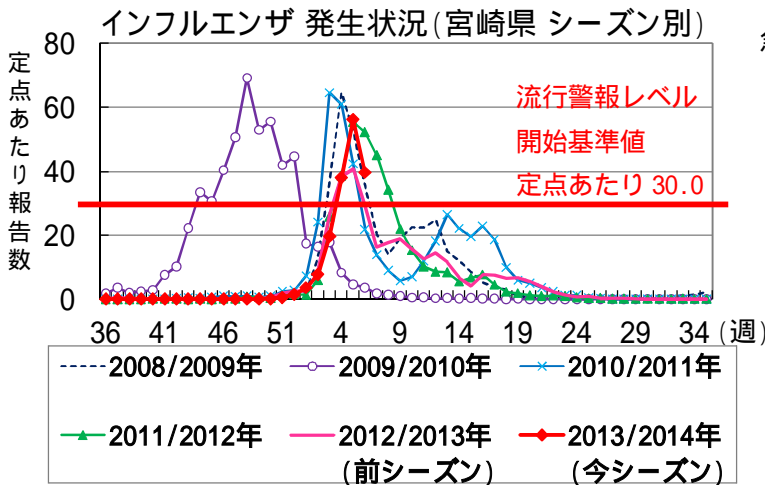
定点医療機関からの報告総数は3,163人(定点あたり66.1)で、前週比74%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

インフルエンザ・小児科定点からの報告

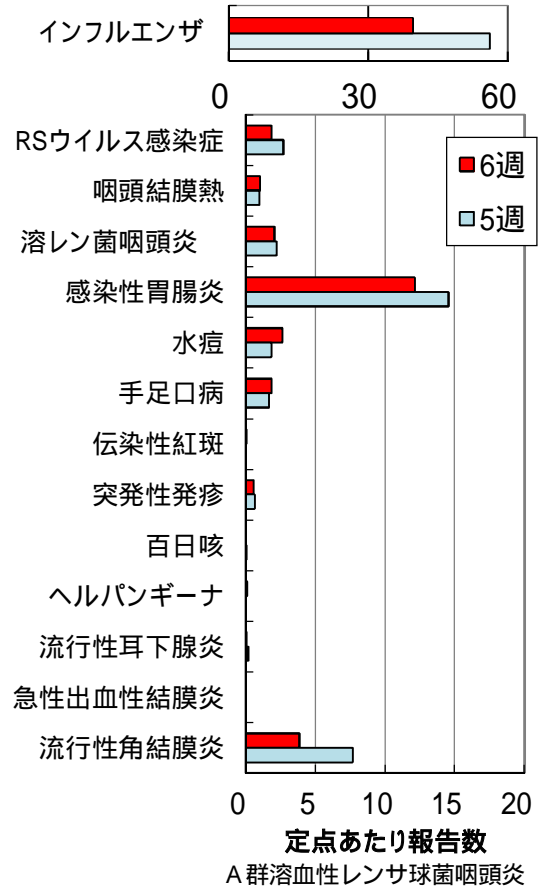
【インフルエンザ】

・報告数は2,335人(39.6)で前週比71%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(29.0)の1.4倍である。延岡(72.3)、日向(49.2)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の37%、6~9歳が28%、10~14歳が19%、15~19歳が2%、20歳代~50歳代が11%、60歳以上が3%を占めた。

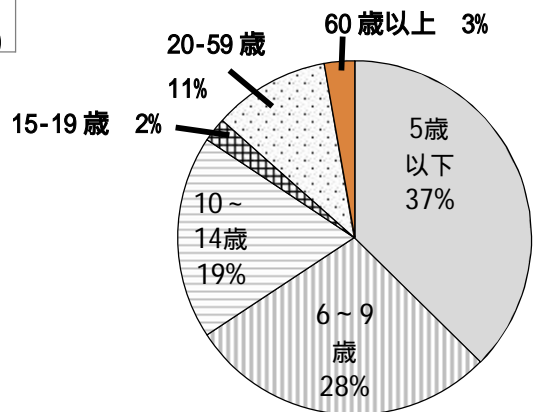
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



(前週との比較)



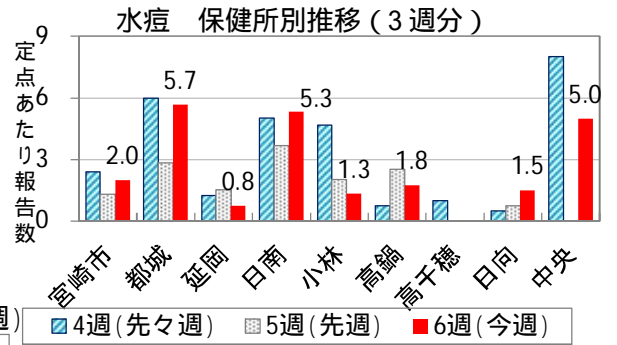
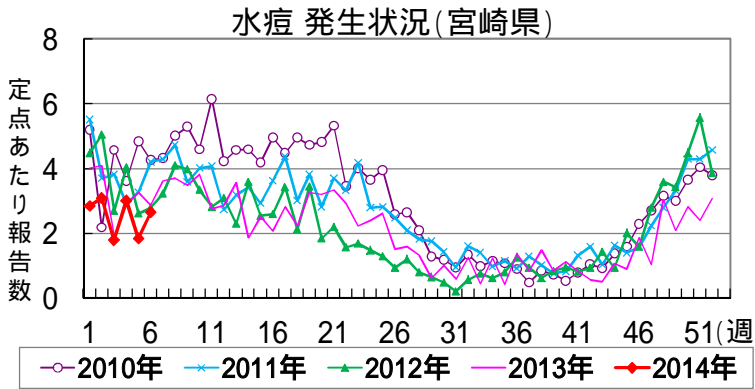
インフルエンザ年齢群別割合



【水痘】

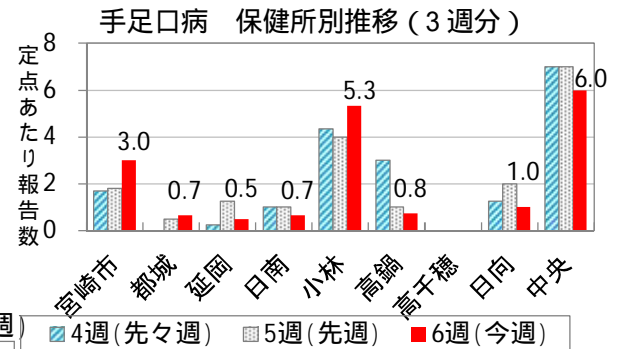
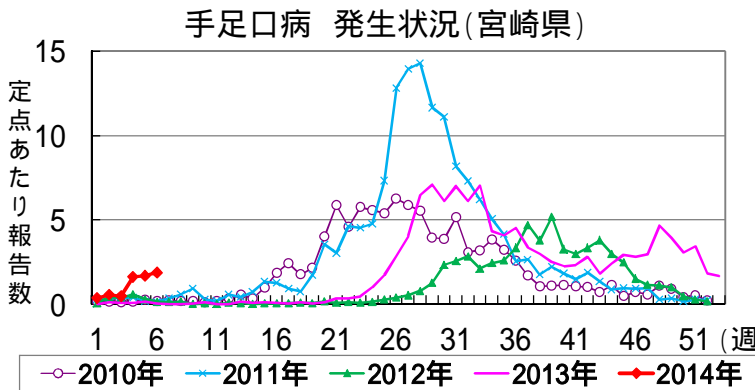
・報告数は95人(2.6)で前週比144%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(3.8)の約7割である。都城(5.7)、日南(5.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から

4歳が全体の約8割を占めた。



【手足口病】

・報告数は67人(1.9)で前週比112%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(0.14)よりかなり多い。中央(6.0)、小林(5.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から3歳が全体の約8割を占めた。



基幹定点からの報告

無菌性髄膜炎：都城保健所管内から3人報告された。患者のうち2人は月齢2ヶ月、月齢4ヶ月で、いずれも Respiratory syncytial virus が検出された。もう1人は80歳代で Norovirus genogroup unknown が検出された。

流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(34.1)
都城	インフルエンザ(45.9)
延岡	インフルエンザ(72.3)
日南	咽頭結膜熱(3.7)、感染性胃腸炎(31.0)
小林	感染性胃腸炎(26.0)、手足口病(5.3)
高鍋	インフルエンザ(39.8)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(49.2)
中央	インフルエンザ(30.0)、手足口病(6.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)

全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 3 例。

3類感染症： 報告なし。

4類感染症： 報告なし。

5類感染症： アメーバ赤痢1例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	病型	症状
2類	結核	宮崎市	70歳代	無症状病原体保有者	-
			70歳代	肺結核	咳、痰、発熱
		高千穂	80歳代	肺結核	痰
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	40歳代	腸管アメーバ症	大腸潰瘍、便潜血
	クロイツフェルト・ヤコブ病	都城	60歳代	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病 診断の確実度：ほぼ確実	進行性認知症、ミオクローヌス、錐体外路症状、臨床的に頑固な不眠、筋強剛

病原体情報（衛生環境研究所微生物部 2014年2月9日までに検出）

ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	検出材料	検出日
インフルエンザAH3型	10歳代	女	2014.1.22	インフルエンザA、38.7、頭痛	鼻汁	2014.1.28
インフルエンザAH3型	4	女	2014.1.23	インフルエンザA、38.0、上気道炎、咳、頭痛	鼻汁	2014.1.28
インフルエンザAH3型	60歳代	女	2014.1.24	インフルエンザA、下気道炎、出血傾向、ショック症状、腎機能障害	咽頭ぬぐい液	2014.1.28
インフルエンザAH3型	3	男	2014.1.25	インフルエンザA、38.1、上気道炎	鼻汁	2014.1.30
インフルエンザAH3型	10歳代	男	2014.1.27	インフルエンザA、38.5	鼻汁	2014.1.30
インフルエンザAH3型	7	男	2014.1.27	インフルエンザA、39.7	鼻汁	2014.1.30
インフルエンザAH3型	8	男	2014.1.28	インフルエンザA、38.4、上気道炎	鼻汁	2014.1.30
インフルエンザAH3型	2	女	2014.1.27	インフルエンザA、40.0、けいれん	鼻汁	2014.1.30
インフルエンザB型 (山形系統)	10歳代	女	2014.1.22	インフルエンザB、39.0、上気道炎	鼻汁	2014.1.28
インフルエンザB型 (山形系統)	10歳代	女	2014.1.25	インフルエンザB、38.5、上気道炎	鼻汁	2014.1.30
インフルエンザB型 (山形系統)	4	男	2014.1.28	インフルエンザ肺炎(B型)、40.0、下気道炎	咽頭うがい液	2014.1.30
インフルエンザB型 (ビクトリア系統)	9	男	2014.1.27	インフルエンザB、38.3、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.1.30
インフルエンザB型 (ビクトリア系統)	7	女	2014.1.29	インフルエンザB、38.5、けいれん	鼻汁	2014.1.30
麻疹ウイルス	10歳代	男	2014.1.31	麻疹疑い、38.0、上気道炎、発疹、結膜炎	咽頭ぬぐい液、尿、血液	2014.2.1
麻疹ウイルス	小学生	男	2014.2.1	麻疹疑い、37.9、上気道炎、発疹、	尿	2014.2.2

インフルエンザA型と診断された小児7名、成人1名からインフルエンザAH3型が検出された。インフルエンザB型と診断された小児3名からインフルエンザB型(山形系統)、2名からインフルエンザB型(ビクトリア系統)が検出された。

麻疹疑いの患者2名から麻疹ウイルスが検出された。

細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同日
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	20歳代	女	2014.1.8	軟便	便	2014.1.20
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4	男	2014.1.29	百日咳疑、チアノーゼ、無呼吸	咽頭ぬぐい液	2014.1.31
<i>Salmonella</i> Manhattan(O8(O6):d:1,5)	20歳代	女	2014.1.31	下痢、発熱	便	2014.2.7
<i>Mycobacterium bovis</i> BCG	0~4	男	2013.12.16	BCG接種後の腋高リンパ節炎	菌株	2014.1.21

0歳児から百日咳菌が分離された。欧米では百日咳菌定着因子のパータクチン(pertactin:Prn = ワクチンの構成成分でもある防御抗原の一つ)欠損株の増加傾向が注視されており、日本でも欠損株の出現が確認されている。Prn欠損株の確認も含め、抗原性の変化は分離株の解析が必須である。将来にわたるワクチン効果の維持や薬剤感受性等の変化に対応するためには遺伝子検査による百日咳菌検出の有無だけでなく、菌の分離も伴った総合的な監視体制が今後、重要になると考えられる。

全国第5週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は51.0で、前週比117%と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘であった。

インフルエンザの報告数は170,403人(34.4)で、前週比139%と増加した。沖縄県(69.0)、大分県(60.0)、宮崎県(56.1)からの報告が多く、24都府県で流行警報レベル開始基準値(30)を超えている。年齢別では、5歳以下が全体の27%、6~9歳が27%、10~14歳が17%、15~19歳が3%、20歳代~50歳代が22%、60歳以上が4%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は32,943人(10.4)で、前週比86%と減少した。大分県(20.6)、福井県(17.7)、山形県(17.1)からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳で全体の約4割を占めた。

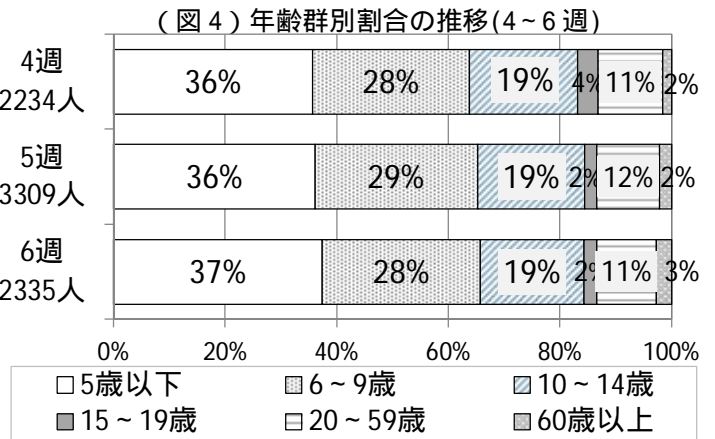
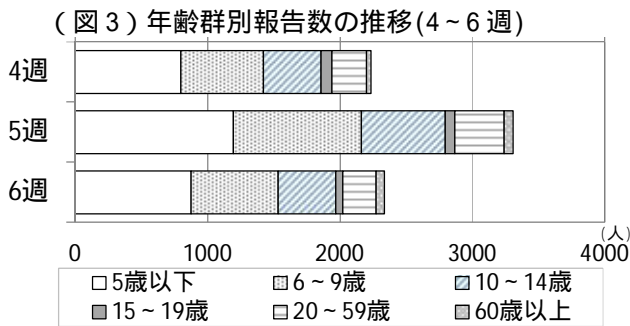
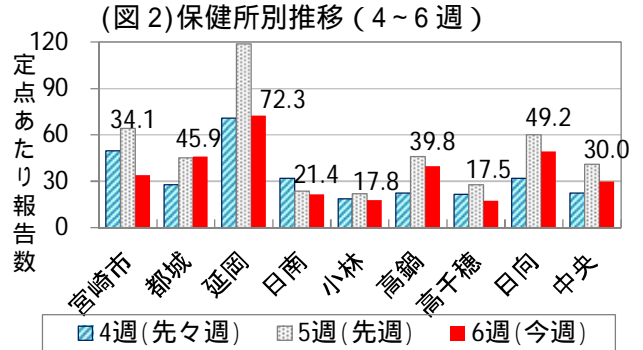
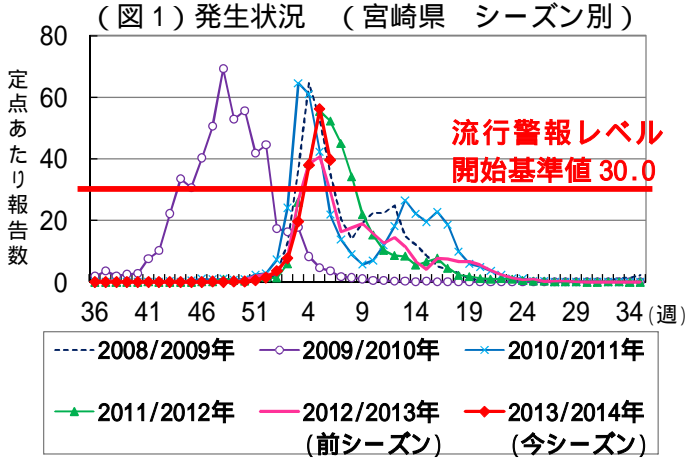
全数把握対象疾患(全国第5週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	309例				
3類感染症	細菌性赤痢	1例	腸管出血性大腸菌感染症	6例	腸チフス	1例
4類感染症	A型肝炎	4例	重症熱性血小板減少症候群	1例	つつが虫病	4例
	マラリア	1例	レジオネラ症	14例		
5類感染症	アメーバ赤痢	14例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	14例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	18例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	23例	梅毒	20例
	破傷風	1例	風しん	7例	麻しん	18例

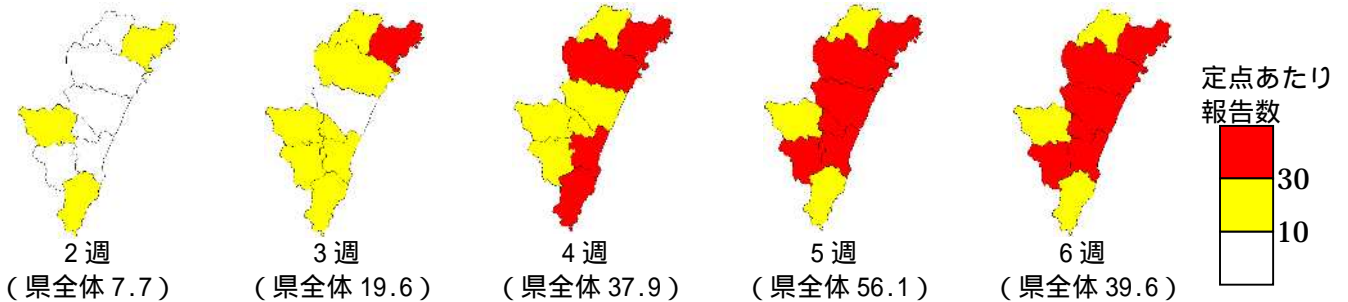
インフルエンザ情報《県内第6週、全国第5週（再掲）》

県内第6週インフルエンザ発生動向

平成26年2月3日～2月9日までの1週間で2,335人（定点あたり39.6）の報告があり、前週の約7割に減少した（図1）。例年同時期の定点あたり平均値（29.0）の1.4倍である。保健所別報告数を（図2）、年齢群別報告数の推移を（図3）、年齢群別報告数の割合の推移を（図4）に示す。



保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 2014年 第2～6週



全国第5週インフルエンザ発生動向

平成26年1月27日～2月2日までの1週間で170,403人（34.4）の報告があり前週比139%と増加した。沖縄県（69.0）、大分県（60.0）、宮崎県（56.1）からの報告が多く、24都府県で流行警報レベル開始基準値（30）を超えている。年齢別では、5歳以下が全体の27%、6～9歳が27%、10～14歳が17%、15～19歳が3%、20歳代～50歳代が22%、60歳以上が4%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第06週(02月03日～02月9日)

疾病名		第5週	第6週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3309	2335	545	459	506	107	89	239	35	295	60
	定点あたり	56.08	39.58	34.06	45.90	72.29	21.40	17.80	39.83	17.50	49.17	30.00
RSウイルス 感染症	報告数	97	66	14	3	16	8	6	9		8	2
	定点あたり	2.69	1.83	1.40	0.50	4.00	2.67	2.00	2.25	0.00	2.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	35	37	10	2	7	11	1	1		5	
	定点あたり	0.97	1.03	1.00	0.33	1.75	3.67	0.33	0.25	0.00	1.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	79	74	10	3	20	3	6	2	2	24	4
	定点あたり	2.19	2.06	1.00	0.50	5.00	1.00	2.00	0.50	2.00	6.00	4.00
感染性胃腸炎	報告数	523	436	114	77	16	93	78	31	2	21	4
	定点あたり	14.53	12.11	11.40	12.83	4.00	31.00	26.00	7.75	2.00	5.25	4.00
水痘	報告数	66	95	20	34	3	16	4	7		6	5
	定点あたり	1.83	2.64	2.00	5.67	0.75	5.33	1.33	1.75	0.00	1.50	5.00
手足口病	報告数	60	67	30	4	2	2	16	3		4	6
	定点あたり	1.67	1.86	3.00	0.67	0.50	0.67	5.33	0.75	0.00	1.00	6.00
伝染性紅斑	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	23	20	8	3	3	1	3			2	
	定点あたり	0.64	0.56	0.80	0.50	0.75	0.33	1.00	0.00	0.00	0.50	0.00
百日咳	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		4	2		1	1					
	定点あたり	0.00	0.11	0.20	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	6	2	1							1	
	定点あたり	0.17	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	46	23	23								
	定点あたり	7.67	3.83	7.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1	3		3							
	定点あたり	0.14	0.43	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～6週)

2類感染症	結核	17例(3)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例			
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	1例	つつが虫病	3例	
	アメーバ赤痢	3例(1)	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎 3例
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例(1)	後天性免疫不全症候群	1例	梅毒 2例
	破傷風	1例	麻しん	3例	

()内は今週届出分、再掲